令和三年度版『新しい書写』

# 先生の授業づくりを支えます

Q&A

教科書を見れば、どのように授業をすればよいか分かる、そんな教科書を目指して編集しました。
書写の指導経験の浅い若手の先生やちょっと苦手意識をお持ちの先生でも、効果的な指導ができるような工夫をしています。

## お悩み①

この単元では何を学べばよいのだろう。教材文字が書ければよい？

書写のねらいは教材文字を上手に書くことではありません。単元のだいじなポイントを「書写のかぎ」として示しているので、学ぶべきことがひと目で分かります。

**書写のかぎ**

行書の点画の変化

・行書では、速く滑らかな動きで書くために、点画の方向や形が変化することがある。

「右払い」

「曲がり」

同じ点画でも、さまざまな変化の仕方があるよ。

「右払い」

「曲がり」






教科書 P36〜37「点画の変化」

## お悩み②

毛筆で書くのは苦手だし、準備にも時間がかかる。何かよい方法はないかな？

全ての毛筆教材に、運筆動画をご用意しました。教科書の二次元コードを読み込むことで、誰でも動画を見ることができます。プロジェクターで演示したり、生徒一人一人がタブレットで確認したりと、さまざまに活用できます。

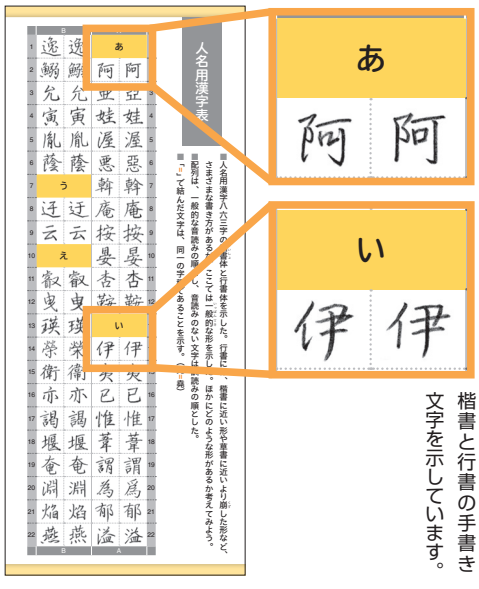
左の二次元コードを読み込むことで、実際の動画を見ることができます。

教科書 P36〜37「点画の変化」

## お悩み③

いちばんよく書く自分の名前に書写の学習を生かしてほしい。生徒の参考になるものはないかな？

巻末の「書写活用ブック」には、常用漢字表だけでなく人名用漢字表も掲載されています。生徒がそれぞれ必要な漢字を探すことができるので、主体的な取り組みが期待できます。




楷書と行書の手書き文字を示しています。

教科書 書写活用ブック 26〜31「人名用漢字表」

東京書籍
〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel: 03-5390-7358(書写編集)

この資料は，令和３年度中学校教科書の内容解説資料として，
一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。